



第105号

発行  
吹田市民生・児童委員協議会  
発行責任者  
宮本 修  
編集責任  
広報部会  
吹田市泉町1丁目3-40  
吹田市役所福祉総務室内



紙面紹介

- |       |                         |       |                    |
|-------|-------------------------|-------|--------------------|
| 1 面   | 大会及び総会の写真、民声            | 6～10面 | 定年退任者の声、社会を明るくする運動 |
| 2 面   | 大会及び総会<br>2期目民生・児童委員交流会 | 11 面  | あの地区この地区           |
| 3 面   | 敬老会                     | 12 面  | 表彰、新任委員紹介<br>編集後記  |
| 4～5 面 | 子どもを知る会、令和3年度管内研修       |       |                    |

民  
声

令和4年も終わろうとしています。コロナ禍もようやく収まる兆しが見えてきており、多くの人が集まる会合や行事なども徐々に解除されつつあります。この一年を通じて大きな災害もなく、民生・児童委員として子育て支援や高齢者支援など地域の人たちと密接した活動がなんとかできています。また、昨年は吹田市民生委員制度創設90周年記念事業があり、私も創設80周年にも関わっており、約20年間民生・児童委員として活動できたことに喜びを感じております。敬老行事は今年も演劇や吹奏楽演奏はできませんでしたが、多くの方々に参加していただき記念品を渡すことができました。

民生・児童委員の中にも敬老対象者の方が多くおられるかと思えます。担い手不足による定年延長で活動量も減少すると思いますが、健康で明るく楽しい活動をお願いします。

吹三地区 岸本 良尚



## 令和4年度 吹田市民生・児童委員大会 総会

6月30日コロナ禍で3年ぶり、吹田市が中核市となり初めての大会・総会がメシアターで、後藤市長をはじめとした来賓臨席のもと開催された。大会は、主催者挨拶市長・会長に続き、来賓挨拶、表彰状授与、大会宣言、謝辞で終了。

総会は、開会の辞に続き規約改正審議で、規約第6条の2の改正案が可決された。3年度事業・会計決算・監査報告、4年度事業計画・会計予算が報告された。

— 議長の趣旨説明 —  
各地区民生委員の担当世

## 2期目 民生・児童委員交流会

6月23日(木)・24日(金)に千里山コミュニティセンターで企画運営部委員を中心に2期目の委員による地域間交流会が開催されました。

宮本会長からは「委員不足が大きくクローズアップされ運営上の課題となっております。委員ご自身とご家族の健康を大切にして長く活動を続けて下さい」とご挨拶がありました。

9班に分かれて地区の実情・問題点などが話しあわれました。

- ・ コロナ禍で活動ができなかった
- ・ 前任者からの引継ぎが書類を渡されただけだったので引継ぎのマニュアルがあったら良いと思う
- ・ 「民生って何?」と言われるので活動内容を市報に掲載し、知ってもらいたい
- ・ 子ども見守り家庭訪問のやり方を見直してほしい
- ・ などの意見や提案が出された



(和田・石井・増田)

それぞれ委員が少なからず同じような悩みを抱えながら活動されていることが分かり「みんな同じなやね」という言葉に大きくうなずいていました。交流会での情報交換が問題解決の糸口になることを願っています。

帯数、地区定員数を見直し、一人が基準の350世帯に近づきようにしていかないと、いつまで経っても地域格差は解消されない。各地区で高齢者世帯が増え、課題も増えた。新興住宅地ができると世帯数が急増し、赤ちゃん訪問が極端に増え訪問回数も増える。課題のない地区はない。一人が基準の倍の世帯数を担当するのを解消したい。民生委員の大変さは世帯数だけでは解消しないことはわかっていて、担当世帯数の平準化に協力していただきたい。

### — 6条改正への経緯 —

12月の一斉改選を控えて3年5月役員会で、吹田市民児協は一人の委員受持ち担当世帯数の基準を、350世帯と設定したが、地区格差の問題があった。7月地区委員長会で基準世帯数の増減幅を、上限420・下限280を目安に見直し、8月各地区の世帯数調査を行い、必要委員数(地区定数)を算出し市議会へ予算計上を依頼し



30年勤続おめでとう

た。委員削減対象地区から4部会へ委員派遣するのは負担が大きいとの意見が出た。10月役員会提起で企画運営部会と研修部会を統合し、広報部会と児童部会との3部会制への改正、児童部会の59人体制の見直しの検討を行った。4年3月市議会にて委員29人の増員が承認され現行52人体制から12月より51人体制と決定した。4月地区委員長会で各地区定数の補正が行われ、5月に専門4部会から3部会への改正が了承された。部会長は副会長が兼務のため副会長1人削減案が6月総会にて提案承認され、7月地区委員長会で研修福祉部会の新設、8月児童部会の見直しを行った。

(木下(洋)・廣山・小野・菱川)



# 2022 敬老会



吹二地区敬老会

品を渡し、来やすいように会場を増やし、休憩用の椅子を用意するなどそれぞれが工夫をしての敬老会でした。課題もありましたが、参加された方の人数も全体に増えていたので、よかったと思います。

今年(2022)の敬老会は、行事を控え、記念品を渡す地区がほとんどでした。

吹二・千二・藤白台地区は敬老会記念行事が開催され、たくさんの方が参加して下さり楽しんでいただきました。

記念品を渡された地区では小学生からのお祝いビデオ、全国を旅された方からの桜前線や紅葉ビデオを観たり、台風接近で2日にわけて記念



千二地区敬老会

## 記念品はこんなのがありました

梅干し、お茶、マスク、ふりかけ、山菜そば、みそ汁、お菓子の詰め合わせ、味付けのり

コロナのためマスクを記念品に入れている地区も多かったです。みなさんに喜んでいただきました。

(小倉・河野・木下(薫)・小関・谷本・山崎)



# 子どもを知る会

主任児童委員連絡会・部会「子どもを知る会」では、7月11日にワーク&ライフキャリアコンサルタント・エビタスキキャリア代表の戎多麻枝さんによる『自分のアンコンシヤスバイアス(無意識の偏見)を自覚しよう!』の講演を行いました。主任児童委員は小学校区に1人で、主に子どもに関する活動を行っていることもあり、本会では子どもに関する今日的な課題や現状など把握するための講座を年1〜2回実施しています。

アンコンシヤスバイアスには、「普通そうだ、大抵こうだ」という価値観の決めつけ、「どうせダメ、



きつとムリ、そんなことできるわけない」などの能力

の決めつけ、「そんなはずはない、こうに決まってる」などの解釈の押し付け、「こうあるべきだ、こうでないダメだ」という理想の押し付けがあります。特にジェンダー(社会的性差)に関しては性別によって期待される役割や位置づけ、規範が押し付けられていることに気づかないことが多い、これまでの人生で

刷り込まれた感覚に愕然としました。しかし、大切なのは、今後自分自身が気づいていないものの見方や捉え方のゆがみ・偏りを意識し、偏見に左右されず意思決定できるようにすることだと知り、これからの子どもたちへの向き合い方も含め、それぞれに思うこと多い講演となりました。

海老谷 千代子

## 令和3年度管内研修

### 研修部会

12月2日(木)保健センター研修室にて、高齢福祉

室支援グループの職員を招き、「みまもりあいアプリ」について研修を実施した。コロナ禍で、部会も書面開催が多かったが、感染対策を講じ開催に至った。

このアプリでは、徘徊行動の恐れがある高齢者が、

事前登録をすることで、徘徊で行方不明になった際に、地域住民に搜索を依頼することができるとのこと。

すでにアプリをダウンロードしている委員も数人見られたが、半数以上の委員はダウンロードまで至っておらず、研修の中で、職員から方法を教わりながらダウンロードし、その後模擬訓練を体験した。

模擬訓練では、行方不明者についての情報に加え、声掛けする際の注意点なども通知された。発見時にはアプリに表示された番号に電話する。

研修を受講した委員からは、搜索依頼があるたびに、近隣を徘徊していないか見回っている。発見の通知があると安心する。別の委員からはこのアプリにより、搜索を依頼する側も気兼ねなくお願いでき、依頼され



る側も気負うことなく、お手伝いができる。そのためにも、多くの市民が本アプリを導入し、搜索の目を増

やしていくことが大切である。お手元のスマホにはダウンロードされていますか。

山之内 一馬

### 広報部会

2022年2月16日にメシシアターにて豊中市民児協・広報部会員と意見交換などを予定していたが、コロナ感染拡大防止のため中止となった。

# 児童部会

今年度部会研修は、11月24日(水)さんくすホールにて「コロナ禍における子ども」の状況」をテーマにスクールソーシャルワーカー(SSW)を講師に招いて、お話を伺いました。昨年12月、新型コロナウイルス感染症拡大のため急遽中止となり、心待ちにしていた講演です。

学校には教員とは異なる

## 企画運営部会

去る11月22日、岩佐まりさんに『若年性アルツハイマーの母と生きる』と題して講演をしていただきました。

ごく初期の段階から、働きながら一人で介護すると決意されて、現在に至るまでを順に追って具体的にお話いただき、私達にもリア



専門性や経験を持つ、スクールカウンセラー(児童生徒の心の治療を行う)とスクールソーシャルワーカー

ルにその状況を感じ取るこ  
とができました。

介護を前向きに捉え、お母様のとんでもない行動を笑い飛ばし、多くの人との出会いに感謝し、全てを自分の成長の糧として捉えていらつしやる姿は本当にすばらしい。

質疑応答の中では身近に似た状況の方が居られるという話も少なからず出ました。

(児童生徒だけでは変えることのできない様々な環境の問題への働きかけをしていく)が配置されています。

2020年3月緊急事態宣言により休校、学校再開・分散登校、夏休み短縮、新しい生活様式が導入され、行事の縮小中止、部活動制限、教育ICT活用、夏休み延長など：見通しの持てない環境の変化の中で、子どもたちのストレスは増大していきました。

ゲームやスマホ、テレビ

講座が始まる前に部会長より介護する側でなく介護される側として話を聞いてみようというお話がありました。

一瞬「えっ」と思いましたが、実際に私達のほとんどが介護するよりされる側になる可能性の方が大きいと気付き、あらためて考えなければと思いました。

介護には公的援助を利用してもなお多くの費用がか



かるそうです。

われわれとしては介護す

の画面を見る時間が増え、

間食の多さから食事時間のずれ、生活リズムの乱れが子どもたちの自律神経のバランスの崩れに繋がったという報告があります。

朝起きられない：からだの反応

物を壊す、自傷行為：行動変化

元気がない、乱暴な言葉づかい：表情や会話

に関し、SSWから次のメッセージをいただきました。

①子どものSOSをおとな

が認めたら、周囲に相談、共有する

②子どもたちへの安心・安全・安定した生活や場所の提供

③関わるおとなもストレスを感じていますよね。自身も大切に

地域社会がもつと学校と連携しながら、子どもたちの環境整備に働きかけるスクールソーシャルワーカーとの接点を広げればと思います。

松下 恵子

る人の金銭的、それに伴う精神的負担が少しでも軽減できるように準備しておく必要があるようです。

とにかく何より日頃から頭を働かせ、体を動かし、頭から足の先まで血流を巡らせて認知症にならないように頑張りましょう！

そして、なるべくお金は使わずに賢く遊びましょう！

上田 文代

それぞれの思い

定年退任者の声

―後輩に残す言葉―

―印象に残ったこと―

―その他―

長い間ありがとう  
ございました



吹一地区



淡 保子

早期の気付き・対応、地域住民の身近な相談相手、見守りなど。

独居住民宅への案内状に記載する名前を間違えて激怒されたこと。

この仕事を引き受けて良かったと思います。社会貢献かな。

吹一地区



宇都宮 正則

「人のために明かりをともせば、我が前明らかなり」他人のために尽くしているようでも、かえって自分のためになるとの意である。この精神で民生委員の役を努めてきた。地域の方々の判断にゆだねるがこの精神は後任に受け継いで欲しい。

吹六地区



山下 節代

他地区の方や地域の方々と交流ができ多くを学びました。

小学一年・二年生の児童と昔あそびの世代交流、普通ではできない色々なイベントに参加できたこと、また独居の方の孤独死に心が痛みました。

吹六地区



田川 壽子

平成22年に民生・児童委員を引き受けて12年、今まで続けてこれました。たくさんの方との出逢いもあり、楽しく終えることができ、改めて感謝とお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

吹二地区



内野 和代

新任の頃に敬老お祝金をお届けしました。数日後に「貰っていない」とクレーム「渡しました」と押し通し、気まずく過ごした一年後にそのお宅の神棚で金封が見つかり、ひたすら詫びられました。25年前9月のエピソードです。

平成16年に民生・児童委員の委嘱を受け活動が続けられた中で色々な問題もありましたが、各委員のご協力をいただいたおかげで今まで無事に過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

吹二地区



白石 正子

19年前緊張と不安の中で委嘱を受けました。しかし素敵な仲間と出会い助けていただき楽しく活動することができました。また貴重な数々の経験は素晴らしい財産となり本当に有難うございました。感謝の思い出いっぱいです。

吹三地区



岸本 良尚

平成16年に民生・児童委員の委嘱を受け活動が続けられた中で色々な問題もありましたが、各委員のご協力をいただいたおかげで今まで無事に過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

吹三地区



岸下 富盛

定年後17年間に及ぶボランティア活動の内、9年間は民生・児童委員として、素晴らしい仲間にも恵まれ活動することができました。今後のボランティア活動において、今回の活動は私にとって貴重な引き出しとなり深く感謝しています。

東地区



由佐 紀久子

担当していた保護家庭夫婦の奥様が亡くなり、参列者は自治会長と私だけで供花もお経も無い寂しいお葬儀でした。まもなく出棺ですの声に、ご主人が「ハーモニカを取り出し「ふるさと」を演奏されました。涙が止まらないできごとでした。

山手地区



田中 汎

当時の自治会長からの声かけて委員になり、たくさんの方に支えていただき、退任となりました。

私は活動の基本を「傾聴」としてきました。実践することにより多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

山手地区



田中 将夫

今、退任を迎え20年前に軽い気持ちで引受けしてから長くもありまた昨日のように思われます。新生児訪問でお会いしたお子様が立派に成人された姿を見ると元気をもらいます。これからも地域のみなさまと共に生涯活動したいと思います。

山手地区



佐竹 英信

この町が好きで民生委員を引き受け、少しでも人生の先輩方の話し相手になればと家を訪問しました。よく「まだ若いね」と言われました。気が付けば私が訪問される側に、まわりの家はすっかり老人ばかりになりました。光陰矢の如し

片山地区



小野 淑子

特別な9年間でした。高齢すまいるフェスタの裏方自分の原稿が90周年誌に載る、ありえない経験でした。コロナ禍の3年間、見守りの威力を思い知りました。包括を始め諸機関様には感謝で一杯です。相談できたことが大きな支えでした。

片山地区



菅野 和夫

役割も十分わからず引き受け、あつという間の4期12年、顔なじみとなったところで定年退任。今後、少子高齢化が進む中で、ますます民生・児童委員の役割は増していきます。引き続き地域の活動に協力していきたいと思えます。

片山地区



島 京子

舅が老いた時、民生委員の方にたいへんお世話になり感謝しましたのでお返ししておこうと思ひ平成19年から16年間、お手伝いさせていただきました。お手伝いできたことに感謝します。

千二地区



福重 博之

民生の仕事にかかわるようになって、今まで経験したことのないことができて良かったと思っています。途中で病気が再発してしまい、思うようにやれなかったことが残念でした。

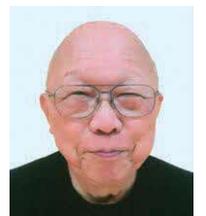
千二地区



加藤 元久

会社定年退職後、いわば人生の第三楽章の12年間、民生委員活動を通じて多くの方々とお会い、たくさんのお話を学びました。有難うございました。最終楽章はゆつくりと過ごし、少しでも地元福祉活動の応援ができればと思っています。

千二地区



中野 昇

民生委員の何たるかを全く理解せず引き受けて12年。期待された役割を果たせたか否か？定年に至り思うことしきりです。ただ言えることは、多くの人と関わりあえたことだけは大きな財産であり大変良かったと思っています。

千二地区



本田 幸子

民生委員の活動に参加し地域のみなさんと話す機会が増えました。お世話になったこの地に感謝の気持ちでお役を引き受け、気持ちに寄り添い状況の把握に心がけました。親しくなり会話を楽しみ、人柄にふれたことが一番有意義でした。

千二地区



寺田 智子

レビー小体型認知症のEさんのことが一番心に残っています。住民の方々にも状況を理解していただき、優しく接していただきまし

千三地区



逢坂 恵子

平成22年12月に吹田市担当を委嘱され12年間活動してきました。その間に大阪北部地震や台風、コロナで生活が一変しました。最後

千三地区



南出 幸子

21年間任務を続けることができましたのも、地区のみなさまに協力していただき、いろんなことに対応でき

豊津地区



森下 恭子

あつという間に27年間が過ぎました。何にも分からない私を指導して下さい

豊津地区



仁後 公雄

7年間で定年退任となりました。コロナ感染のため制約多

岸部地区



中川 光子

私は、地域住民の人達と接することが好きで、身近な相談役として27年間の活動を終え、退任いたしました。

岸部地区



西山 照子

平成24年12月1日に委嘱を受けたことが、地域活動の始まりです。詳しい活動

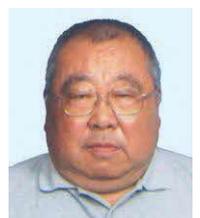
岸部地区



岸田 滋

6年間私の経験したことのない世界を勉強させていた

岸部地区



大庭 健

この度、みなさまに支えられながら無事、定年退任することとなりました。

山一地区



池川 節子

この度、民生委員を定年退任することになりました。思えば何も分からないまま

山二地区



高橋 正幸

サラリーマン時代から会社外の人間とのつながりは貴重な経験でした。

退職後の9年間、微力ながら社会貢献できたと思いつつ、今後も元気な内は、手伝いたいと思っています。

山二地区



小杉 節子

あつという間の3年間でした。

みなさまありがとうございました。

この地域が大好きで、住民の人達とのつながりも広がり、いつでも気軽に話し合え、笑顔で暮らせる町になることを願います。

山二地区



宮本 修

民生・児童委員として21年務め、様々なことがありましたが、健康に支えられ多くの方の協力も得て、すべてが良い思い出となって心より感謝しています。  
みなさまも、家族と健康を大切にされて歩まれますよう祈っています。

山二地区



藤田 美智子

最適任の方へバトンを繋げることができて、ほっとしました。

繋げることの難しさを痛感いたしました。

長い間、有難うございました。



山二地区



小杉 妙子

13年余り地域に関わって来られたのはみなさま方に支えられてのことで感謝いたします。現在もそうです。老世帯・独居さんも多くなり、これからの民生委員も大変ではないかと心配です。敬老会の準備は大変でしたが楽しくも有りました。

山二地区



田中 康平

拜命して早9年が経過しました。

いろいろな方と交わり、多くの生きた勉強や笑い・涙・感動・崇高な経験をさせていただきました。

最後に、お世話になった関係者の皆さんと妻に心から感謝します。

山二地区



村田 紘一

後任を見つけないとやめられない？そんなことできるの。

やがて、高齢者ばかりで若い年齢層の少ない、いびつな社会が目前にきています。

しかも、人とのつながりの薄い社会が。

山三・山五地区



野口 修司

民生委員として永きに渡り活動できたことに感謝。

信頼相談できる仲間と出会え地域で人とひとの繋がりが広がり話す機会に感謝。

高齢化対応、独居、高齢世帯での認知症問題、高齢者が安心安全に住める地域創りを切に願う。

山三・山五地区



向仲 綾子

平成4年からの活動、今までのことが走馬灯のように頭の中をめぐるっています。多くのことに向き合い大変な体験もありました。地域の方との出会い別れもありました。この3年間はコロナ禍で思うように活動できなかったのが悔やまれます。

南千里 I 地区



中 嗣雄

委嘱を受け、地域住民方にできるかの思いで行って来ました。有る時相談を受け対応しその後しばらくして繊細な気配りがないなど言われ心に残りました。人世の一生に色々な方に出会い体験させていただき、関係者各位に感謝いたします。

民生・児童委員の委嘱を受け12年間任期を無事に終えました。乳幼児から高齢者まで、たくさんの人々と親しく活動できました。残念なのは最後の2年間新型コロナウイルスであらゆる企画行事が中止になったこと。早く終息することを祈ります。

南千里Ⅰ地区



宮脇 重幸

委嘱を受け戸惑いつつもあつという間の21年。地域の人たちに寄り添う大切さを痛感しながらも、身の丈に合った活動を続けてきたつもりです。多くの方々に支えられ、健康にも恵まれたお陰かと感謝しております。

南千里Ⅰ地区



西田 廣子

長い間ありがとうございました

いよいよ

(小宮・伊東・高澤・

尾崎・菱川・宮崎)



- 南千里Ⅱ地区
  - 奥田 安子
  - 杉山 昌美
- 千一地区
  - 柄本 夫佐子
  - 古谷 壽宏
  - 岡本 授子
  - 植村 春江
- 豊津地区
  - 木山 千鶴子
  - 河邊 幸子
  - 田中 幸子



「社会を明るくする運動」

7月2日 メイシアター



幸島 美智子氏

後藤市長のあいさつで、問題がおこっていることを事前にキャッチし、すぐに情報を得ることによって社会が明るくなると話されました。

第1部では、子育てアドバイザー幸島美智子氏が講演された。子どもの虐待は、身体的、心理的、性的、ネグレクトがあり、SOSを出していることに気付けないこともある。1人でも多くの子どもを助ける協力が必要。いじめも大人がしていること(夫婦ゲンカなど)を子どもは見ているのでいじめはなくなる。いじめは大嫌い、ひきょうなことは大嫌いと言いつけるような育て方をすると非行は少なくなる。

今は、小さな子どもにすぐスマホを見せる親が多い。スマホ依存症にならないためにも、本を読ませる。まず、親が読む習慣をもちその姿を子どもに見せる。また、押しつけた育て方ではなく、10歳までは本気で外遊びをさせることによって、言葉が増え会話がスムーズにでき、ハッキリとものを言える子になり、身を守ることができる。本物の生きる力がつくように、問題解決能力、自分で考える力、コミュニケーション力、人の話を聞く力、言える力である。いろいろなことを子どもにまかせる、経験させる、やらせることは大事。親は解決できない時は頼られるような存在で見守る。“ありがとう”は魔法の言葉なので恥ずかしがらず使って下さいと締めくくられた。

第2部は、豊津西中学校吹奏楽部の演奏がありました。コロナで生演奏を聴くことがなかったのですが、久しぶりに生演奏を聴き感動しました。



楽しい演奏でした

(小倉・木下(薫))



千里新田地区

制限の中での地域活動

コロナ感染拡大により日々の活動に制限が増え以前のような活動ができず、地区のイベントのお手伝いも少なくなりました。そんな中ではありますが高齢者の方々の日常は心配です。一軒一軒民生委員が家庭訪問、日々の様子を訪ねながら昼食会のお弁当を取りに来ていただく確認に回りました。配付当日は、会場を地区公民館と春日会館の2会場として移動距離を少なくしました。6月の暑い日中、室内にイスを用意し休憩をさせていただくと久しぶりにお会いになった方々はお話はずみ楽しい時間を過ごされました。

小学生の登校時の見守りでは、青パトに乗ったり登

校途中の道に立ったり、青対の行事の魚釣り大会、清掃パトロール、地域の方々小学生でのスローイングビンゴ大会など子どもたち



むつみ会弁当配付



記念品配付春日会場

と行動するなかで私達がいっぱい元気をもらっています。昨年の敬老行事は記念品を取りに来ていただきました。小学生が書いてく

れた絵手紙を記念品といっしょに渡しました。大変好評でした。昨年12月には、子育てサロン「のびのび」を再開。屋外で写真会などをしたのでたくさんの参加がありました。その後は、児童センターで行っており

ますが、子ども園の地域担当の先生が来てくださり、保護者の方々も色々な相談をされ充実したものとなっています。

コロナ禍での制限はありますが、地区の各種団体のメンバーの方々と力を合わせてできることから活動を始めています。

瀬戸口 和代



子育てサロンのびのび

豊津地区

豊一つながりの会(豊一)

地区福祉委員会、豊津地区民生・児童委員協議会、豊一豊寿会、吹田市豊津・江坂包括支援センター、豊一地区にある福祉事務所有志吹田市社会福祉協議会主催。

第3弾みんなで歩くは9月28日(水)9時30分江坂公園をスタート。

参加者は21人である。昨夜からの雨も上がり、ちょうど良いウォーキングびりである。もちろんマスク着用である。

のぼりと手作りプラカードを先頭に、先ずは最近きれいに舗装された糸田川遊歩道を歩く。車は通らないので、のんびりおしゃべりを楽しみ、周りの風景を楽しみむうちに広芝公園に到着。20〜30分ほどの散歩ではあるが適度に汗ばみのも乾いた。ドリンクタイムで疲れを癒して、今回の目玉で

あるフィンランド生まれのニュースポーツ「モルック」に挑戦する！

初めての方がほとんどだったが充分楽しめた。

「ゲームは苦手だけれどやってみようかな」「楽しかった」「次回も参加してみようかな」「初回から参加していますよ」

などポジティブな感想をいただいた。

最終目的地の豊一地区公民館には10時40分ごろたどり着いた。約一時間あまりの行程であり、みなさんスッキリとした笑顔で解散できた。

次回の参加お待ちしております。 宮崎 和子



のんびり散歩 楽しいね♡

北千里地区	南千里Ⅰ地区	南千里Ⅱ地区	山三山五地区	山二地区	山二地区	岸部地区	豊津地区	千三地区	千一地区	吹南地区	東地区	吹二地区	吹一地区
中森 都	田中 守	西田 廣子	野口 修司	宮本 修	美濃部 宏子	齋藤 征子	渡邊 眞	南出 幸子	吉田 洋子	矢吹 賢太郎	由佐 紀久子	辻本 裕子	四宮 とも子

20年表彰

市長表彰

厚生労働大臣特別表彰

令和4年度  
吹田市 民生委員  
児童委員 大会受賞者

10年表彰

吹一地区	吹二地区	山手地区	千二地区	五月が丘地区	豊津地区	豊津地区	山二地区	南千里Ⅰ地区	南千里Ⅱ地区	藤白台地区
由上 敬子	稲山 孝良	宮川 悟	堀江 従子	堀川 眞孝	前川 恭子	川辻 初美	橋本 和泉	梅田 正子	宮崎 聡	田端 良子

新任委員紹介

令和4年4月1日委嘱



吹一地区 草場 龍壺



千三地区 宮本 佐与子



千二地区 松谷 幸子



千二地区 西村 美智子



千一地区 池田 礼子



千一地区 木村 明子



吹二地区 岡田 智恵美



北千里地区 前田 豊



北千里地区 森 みどり



北千里地区 小川 尚子



南千里Ⅱ地区 佐藤 朋子



山二地区 石井 亜乃里



豊津地区 柚田 多賀子

編集後記

コロナ禍が少し収まって  
今までの行事が少しずつ開  
催された頃、3年振りの民  
生・児童委員総会もメイシ  
アターで開催され、他地区  
との委員交流もみられました。  
た。

3面では、感染予防をし  
地域高齢者の方と集う、各  
地区での敬老会行事の報告  
です。

6面から10面に長年活動  
された定年退任者の方の声  
として、後輩の我々に残す  
言葉や思いを掲載していま  
す。今後の参考としながら  
コロナ感染対策をし、自身  
を守り活動していきたいと  
思います。  
(和田)

おわびと訂正

104号21ページの新任紹介  
でお名前に誤りがございま  
した。正しくは「桐原 良彦」  
さんです。おわびして訂正  
いたします。